

(3) 対象地域の地震被害の課題を踏まえた被害想定の方針

対象地域の地震被害の課題

地震被害想定の方針

シナリオ被害想定の方針

(1) 全般的な課題

津波、余震、降雨等による二次災害の発生
本震後の災害余震による影響
内陸部ではどこでも震度7相当となる可能性

(2) 一般住宅の震動被害

防災上危険な密集市街地の高密、大量、広域分布
建物内の施設・家具等の倒壊による人的被害発生

(3) 防災上の重要施設被害

官公庁の庁舎、警察・消防、学校、病院、市民利用施設の被災
建物内の施設損壊による機能低下

(4) 文化財等の被害

美術工芸品等の落下や倒壊による被害
火災延焼による焼失
崖崩れ、倒壊物による二次被害
参拝者等の被災

(5) 高層建築物・長大構造物被害

高層ビルの被災
橋梁等の土木構造物の被災
石油タンク等の大規模危険物施設の被災

(6) 火災・延焼被害

市街地の延焼遮断性の不足（オープンスペース）
消防力を越える火災延焼の危険性
通電火災の発生

(7) 津波被害

海岸域震動災害と津波災害の複合（水門被害、津波情報寸断）
津波の回り込みによる瀬戸内海被災（水産産業等）
津波による海面浮揚物による船舶損傷
津波引き波による船舶座礁
利用率の高い港湾内の船舶衝突等

一般家屋の倒壊被害予測

■最大余震による建物被害
■被災エリア全体の被害規模と分布（全壊棟数）
■特に激甚な被害を受ける密集市街地の抽出
・特定地震による被害量
・地盤、建物分布特性等による危険度評価
■市街地整備実現効果
■建物倒壊に伴う人的被害
■建物内の家具等の倒壊に伴う人的被害

重要施設被害の想定

■危険性に関する定性評価（定量予測は個別診断が必要）
■機能支障の定性評価

文化財被害の想定

■文化財の落下、倒壊による被害量
■焼失量の想定（火災延焼被害予測による）
■対策効果の測定（火災延焼被害予測による）
■斜面崩壊による影響評価
■季節、曜日、時間帯による参拝者量の把握と定性評価

高層建築物・長大構造物被害

■危険性に関する定性評価（定量予測は個別診断が必要）

密集市街地の火災延焼被害予測

■市街地の出火危険度（出火地点と出火数の予測）
■時間の経過に伴う延焼被害
・延焼規模
・延焼危険度
■消防活動状況（シナリオ想定）
■対策効果（不燃化、消防力強化等）

津波被害の予測

■水門、堤防施設等の損壊を踏まえた浸水被害
■津波到達時刻を踏まえた逃げ遅れ等による人的被害
■津波情報機能の停止を踏まえた逃げ遅れによる人的被害
■その他の二次被害リスクの定性的検討

被害連鎖事象の予測

■空間的・時間的に連続した災害状況の流れを想定
・火災延焼の時間推移の想定と波及影響の想定
・津波到達、河川遡上等による浸水被害の拡大
・波到達時刻を踏まえた逃げ遅れによる人的被害予測
・情報寸断に伴う津波からの逃げ遅れの想定
等

応急対策活動状況の予測

■いつ、どこで、どの程度の応急対策活動が必要か
・消火活動状況の検討
■対策活動の内容や規模、活動支障となる事象を想定
・対策本部参集支障の想定
・本震直後に発生した最大余震による影響の検討（最もシビアな余震発生のタイミングはいつか 等）
・消火活動支障の検討
・火災、津波等の避難警告、誘導活動支障の想定
■対策活動の正否に伴う被害軽減効果の測定
・水門開閉、避難誘導等の津波被害軽減効果の想定
・消火活動の正否による被害軽減量の想定

対象地域の地震被害の課題

被害想定の方針

シナリオ被害想定の方針

